

(LAURUS)

第101回

日本陸上競技選手権大会

兼 第16回世界陸上競技選手権大会
(2017/ロンドン) 代表選手選考競技会

菊池 理沙 選手

小井戸 涼 選手



6/23 金
10000m
19:00スタート

会場
大阪府大阪市
ヤンマースタジアム長居

6/25 日
5000m
16:50スタート

陸上競技の日本一を決める大会がピリリと緊張した空気の中、スタートしました。今年、世界選手権(ロンドン)の代表選考大会で、トラックフィールド競技で合わせて男女36種目が行われました。日立製作所からは、菊池理沙選手と小井戸涼選手の2名が出場。真剣な表情と走りにご注目ください。

日立製作所女子陸上競技部事務局



>> To the next.



◀ 女子陸上競技部
OGも応援に
駆けつけます

DAY23 10000m RISA KIKUCHI

会場入りして最初に思ったのは、ほかの選手と自分とを冷静に、そして客観的にみたときに、選手の脚がみんな作りこんできていて、自分はできていないと思い圧倒されてしまった感じがありました。大阪入りしてからは、それまで合宿していた菅平とは気候が全然違って、まとわりつくような高い湿度に身体がついていきませんでした。まだまだですね。



▲ 小井戸選手、ゴールの瞬間。
悔しい結果に苦悶の表情を見せました。

足元の雨水が選手の
体力を奪います。▶

DAY25 5000m RYO KOIDO

こんな大舞台に出場することができて感謝の気持ちでいっぱいです。初出場だった今日のレースは、自分では思いどおりにいかないところがあったので、次につなげる大会だと思ってます。実は、合宿から戻って少し身体が疲れていたのですが、先週の月曜日の出社時に職場の皆さんから応援の言葉をいただいて、頑張る力に変えることができました。

結果

種目	選手	記録
10000m	菊池 理沙選手	35 : 27.92
5000m	小井戸 涼選手	15 : 41.93



加藤 宏純 監督
HIROZUMI KATO

日本のレースの最高の舞台のスタートラインに立った二人の選手。日本の頂点を争う大会で、両選手とも最後まで本当に頑張りました。菊池選手も小井戸選手も、今回の経験を活かして次のステップに成長してもらいたいと思っています。小井戸選手ですが、今日は15分41秒93で総合13位という成績でした。次の5000mの舞台はインドです。体調を戻し、そして整えて、頑張ってきてもらいたいと思います。



告知

第51回織田幹雄記念国際陸上競技大会にて小井戸選手が上位入賞、7/6(木)インドのブバネーシュワルで行われる「第22回アジア陸上競技選手権大会」に日本代表選手として出場します。

応援よろしくお願ひします!